

TICAD7 公式サイドイベント

女性の健康と権利が最優先～アフリカにおけるUHC達成に向けて～



世界では毎日約 830 人の妊産婦が予防可能な原因で死亡し、その 99%がアフリカなど途上国に住む女性です。15～19歳の女性の最大の死因は妊娠・出産に関連し、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR)の実現は急務です。「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)」が求める「すべての人の健康」は、途上国の女性と若者を除いては成し得ず、SRHRの視点が不可欠です。UHC達成に向けたSRHR推進の重要性を議論し、11月のICPD25ナイロビサミットへの提言につなげます。

日 時: 2019年8月29日(木) 10:30～12:00 (開場 10:10)

会 場: パシフィコ横浜 展示ホールB05

横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

共 催: 国連人口基金(UNFPA)、国際家族計画連盟(IPPF)、
国際協力NGOジョイセフ(JOICFP)

登壇者(五十音順、敬称略):

総合司会: 富永愛(ジョイセフアンバサダー)

- あべ俊子(外務副大臣)
- アルバロ・ベルメホ(国際家族計画連盟事務局長)
- 石井澄江(公益財団法人ジョイセフ理事長)
- エメファ・シェリタ・アンコウ(IPPFトーチ(ATBEF)ピア・エデュケーター)
- 武見敬三(参議院議員)
- ナタリア・カネム(国連人口基金事務局長)
- ビエンス・ガワナス(国連アフリカ特別顧問室特別顧問)※調整中
- 山本尚子(WHO事務局長補)※調整中
- ユニティ・ダウ(ボツワナ外務国際協力大臣)※調整中

言 語: 英語・日本語(同時通訳)

参加費: 無料

定 員: 200名

申し込み: <https://forms.gle/EZeY1ePvSG4C5TMq9> (定員になり次第締め切り)

問い合わせ: advocacy@joicfp.or.jp

